

上尾市立平方小学校 学力向上プラン「グランドデザイン」

学校教育目標

心豊かでたくましく 共に生きる子ども

○進んで学ぶ子 ○共に生きる子

○明るくたくましい子

学校課題研究主題

「体力向上に向けた教育の推進」

～体育科の授業の工夫改善を行い、自己有用感を高め、生涯にわたり運動に親しみ心身の健康の保持増進に取り組むことができる児童の育成～

学力・学習状況調査の結果

R7 全国学力・学習状況調査	R7 埼玉県学力・学習状況調査	R6 上尾市立小・中学校学力調査
・国語、算数、理科のすべてで正答率が全国平均を下回っている。 ・国語と理科の記述式問題の正答率では全国平均を上回っているが、算数の記述式問題の正答率は全国平均 34.9%より 9.2%下回った 25.7%であった。	・国語、算数ともに、学力レベルが県平均と比べると全体的に下回っている。 ・記述式の正答率に課題が見られるが、国語と算数を比較すると、算数の記述式の方がより正答率が低い結果が出ている。 ・どの学年も柔軟な方略と自己効力の値が県平均より高い。	・国語では全学年を通して、文章の要約の記述や、指定された長さや構成を考えて文章を記述することに課題がある。 ・算数では、学年が上がるにつれて、四則演算の定着に課題が見られた。特に、小数・分数の乗法、除法に課題がある。

本校で身に付けさせる学力

知識及び技能の習得	思考力・判断力・表現力等の育成	学びに向かう力・人間性等の涵養
①各教科において習得する知識や技能を確実に習得する力。 ②既習の知識をもとにして、新たな知識を学習する力。	③体験から学び取ったことと自分の考えを結び付け、筋道を立てて表現する力。 ④記述されている内容から事実を正確に理解する力。	⑤課題に対して意欲をもち持続して取り組む力。 ⑥自身の学習活動の振り返りから学習課題を見付け、今後の学習の見通しをもつ力。

学力向上のための授業改善

知識及び技能の習得	思考力・判断力・表現力等の育成	学びに向かう力・人間性等の涵養
○繰り返し試すことができる学習の場（試行錯誤） ○学習規律を整える ○習熟度別学習（3年生以上） ○教科担任制の充実 ○視覚的に分かりやすいようにポイントを焦点化する	○ICT端末の活用 ○意図的な言語活動場面の設定 ○体験から感じ取ったことを表現する活動の計画への位置付け ○ペア、3人組、グループでの話し合い活動の実施 ○実際の生活場面を想定した学習	○「分かる」授業づくり ○魅力的な課題の提示 ○自己有用感の育成 ○子どものよさを認め、伸ばす「ほめる教育」の実践 ○児童自身の自己調整力を伸ばす振り返り活動の充実

本校の特色ある取組

- 週4日の10分間朝読書
- 交流教育の実施
- 30分間の業間休みでの外遊びを通じた体力向上
- 黙動（働）の取組
- 習熟度別学習（3年生以上）
- 教科担任制の充実

家庭教育との連携

- 一家庭一協力で、全家庭が学校協力活動を行う
- ICT端末による家庭学習